

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	令和2年4月1日	終期	令和5年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟中央地区保護司会補助金 会の運営を通し、保護司としての資質向上に努め、保護観察業務を円滑にし、対象者の速やかな更生を図り、犯罪予防のため、地域浄化活動を推進する新潟中央地区保護司会の活動を支援するもの。						
款・項・目	民生費 社会福祉費 社会福祉総務費						
所属等	中央区健康福祉課 地域福祉担当 電話025-223-7252						

年 度	令和2年度（1年目）	令和3年度（2年目）	令和4年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	634	634	634
	決算(千円)	634	634	634
補 助 率				

目 標	<p>社会奉仕の精神をもって、犯罪を犯した者の改善及び更生を助けるとともに、犯罪の予防のため世論の啓発に努め、地域社会の浄化を図り、個人及び公共の福祉に寄与すること。</p> <p><目標が数値でない場合の評価方法> 保護司会としての任務を円滑に遂行し、保護司法に規定する使命達成に資する活動状況、成果等を評価</p>		
-----	---	--	--

目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	<p>地域での更生保護活動のほか、会の運営、関係機関との連絡会議の開催、また、街頭広報、ポスター掲示、小中学校作文コンテストの作品推薦、市民集会の開催などの社会を明るくする運動を通じて、犯罪後予防活動を行い、保護司会としての任務を円滑に遂行した。</p>	<p>地域での更生保護活動のほか、会の運営、関係機関との連絡会議の開催、また、ポスター掲示、小中学校作文コンテストの作品推薦などの社会を明るくする運動を通じて、犯罪後予防活動を行い、保護司会としての任務を円滑に遂行した。（例年、古町モールで街頭広報、施設研修を行っているが、感染症対策のため非接触型のイベントに変更）</p>	<p>地域での更生保護活動のほか、会の運営、関係機関との連絡会議の開催、また、街頭広報、ポスター掲示、小中学校作文コンテストの作品推薦、市民集会の開催などの社会を明るくする運動を通じて、犯罪後予防活動を行い、保護司会としての任務を円滑に遂行した。</p>

補助事業者による情報の公表	事業用パンフレット等
---------------	------------

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input checked="" type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input checked="" type="radio"/>
	×になった項目に対する今後の取組	<p><a～fにおける取組></p> <p><g～hにおける取組> 保護司会の任務である更生保護活動を数値化することは困難であり、目標の数値化を行わなかったが、活動を続けることに大きな意義があり、来年度も社会を明るくする運動に取り組んでいく。</p>			
	目標未達成の原因分析	<p><期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか></p>			
		<p>① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止</p> <p>①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 犯罪予防や地域浄化活動を推進し、また犯罪のない明るい社会の構築を目指して活動するなど公共の福祉に寄与するもので、引き続き支援していく。</p>			